

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年11月26日

計画の名称	皆野町と長瀬町の水環境保全と施設の長寿命化（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	皆野・長瀬下水道組合（普通会計分）												
計画の目標	皆野町と長瀬町の生活環境を整備し、清流を維持するとともに、東京湾に流れる荒川の水質向上に努める。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	64	A	64	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	平成27年度から平成31年度までに整備面積14.93ヘクタールを整備し下水道整備達成率を88.8%（H27）から92.1%（H31）に増加させる。 下水道（汚水）整備面積 汚水整備済み面積（ha）/事業計画面積（ha）	88%	90%	92%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画の成果目標については、事後評価等、関連する整備計画と一体的に評価する。												

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	皆野・長瀬下水道組合(普通会計分)	直接	皆野・長瀬下水道組合	管渠(污水)	新設	長瀬処理分区(污水管)	L=560m	長瀬町						25		-	
	A07-002	下水道	一般	皆野・長瀬下水道組合(普通会計分)	直接	皆野・長瀬下水道組合	管渠(污水)	新設	皆野第1処理分区(污水管)	L=440m	皆野町							39		-
												小計						64		
											合計						64			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
皆野・長瀬下水道組合社会資本総合整備計画事後評価規定に基づき、皆野・長瀬下水道組合社会資本総合整備計画事後評価委員会にて事後評価を実施	令和3年2月
	公表の方法
	組合ホームページへ掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道整備済み面積が増加したことにより、生活環境の整備が進み公共用水域の水質保全が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
本計画は、平成27年度～平成31年度までの5年間で進捗させた社会資本総合整備計画から、平成30年度、平成31年度分の2年分の要素事業1件を重点的に切り出し特定環境保全公共下水道事業を行った。 今後も、未普及対策を重点計画として進めていくとともに、生活環境を整備し、水質向上に努める。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	指標	
	最終目標値	92%
	最終実績値	97%